

令和4年度 第1回 岡山県河川整備検討委員会 議事要旨

日時：令和4年9月28日（水） 10:00～12:00

場所：岡山県青年館 2階 大ホール

議題

一級河川旭川水系中流ブロック河川整備計画（変更原案）について

審議結果

項目	流域治水について
意見	・流域治水は、治水対策に対する大きな方向転換であり、住民への周知や学校教育として取り組む必要があることから、教育部局との連携や講師派遣などを通じて、流域治水を浸透させてほしい。 ・現地施工にあたり、堤内地の大部分が田畑のような箇所は、遊水地として残すなど、流域治水の考え方を踏まえた整備を考えてほしい。
回答	・教育部局との連携については、教育部局も構成員である庁内連絡会で積極的に情報共有する。 ・講師派遣については、防災部局や国とも相談しながら対応を検討したい。 ・現地施工にあたり、地域住民と調整しながら、流域治水の考え方を踏まえた整備を検討したい。

項目	ダム再生事業について
意見	・ダム下流への放流量が低減できるような効果的な操作方法をダム再生事業と併せて検討してほしい。
回答	・ダム再生事業を実施する国と相談していきたい。

項目	河川ごみについて
意見	・災害時には、大量のごみが河川を流れて河口部や漁港等に集まることから、災害時における河川ごみの対応についても記載してほしい。 ・河川ごみの深刻さを学生に知ってもらう機会として、おかやまアダプト推進事業を活用してはどうか。
回答	・災害時における河川ごみの対応に関する記述について検討する。 ・おかやまアダプト推進事業の対象団体を高校生等にも展開できないか、教育部局と連携し、検討しているところである。

項目	環境面について
意見	・河道掘削にあたっては、できるだけ現在の自然環境を維持するよう水面より上の掘削で対応できないか。
回答	・現地施工にあたり、必要な流下断面を確保した上で対応を検討したい。